

令和3年9月8日

令和3年度第6回教育委員会定例会会議録

鹿児島県教育委員会

令和3年度第6回教育委員会定例会会議録

日時 令和3年9月8日（水）

14時00分～16時15分

場所 教育委員会室

出席者

東 條 教 育 長	森	副	教	育	長	兼	生	徒	指	導	総	括	監											
島 津 委 員	堀之	教	育	次	長	兼	総	務	福	利	課	長	長											
今 村 委 員	橋	教	職	務	校	教	育	課	長	長	長	長	長											
原 之 園 委 員	野	義	高	保	文	化	財	課	長	長	長	長	長											
堀 江 委 員	加	南	高	校	教	育	課	全	国	高	等	学	校	總	合	文	化	祭	推	進	室	長		
馬 場 委 員	黒	内	園	島	岡	島	廣	總	務	教	育	課	生	徒	指	導	参	補	長	佐	長	監	事	
		中	福	貴	兼			義	高	校	教	育	課	長	補	佐								

議 決 事 項

件 名	提 案 理 由	審議の状況	採決の次第
<p>議案第1号            予算外議案の作成            に関する知事への意見            申出について            (財産の取得に関する            議案)</p> <p>議案第2号            鹿児島県いじめ防止            等対策委員会委員            の任命について</p> <p>議案第3号            市町村立学校長の            任命について</p>	<p>県立高校における学習者用            コンピュータとしてタブレッ            トパソコンを取得しようとする            議案について、知事に意見            を申し出ようとするものであ            る。</p> <p>鹿児島県いじめ防止等対策            委員会の設置に伴い、委員を            任命しようとするものである。</p> <p>校長の休職に伴い、後任発            令をしようとするものである。</p>	<p>特 記 事 項            な し</p> <p>継 続 審 議</p> <p>特 記 事 項            な し</p>	<p>決 定</p> <p>—</p> <p>決 定</p>

# 会 議 要 旨

## 1 開会

## 2 会議の公開等について

議案第1号，議案第2号，議案第3号，その他（8），その他（9）及びその他（10）については，非公開で審議する旨教育長から発議があり，全会一致で議決された。

## 3 令和3年度第5回教育委員会定例会の会議録の承認

令和3年度第5回教育委員会定例会の会議録について，承認する旨教育長から発議があり，全会一致で議決された。

## 4 教育長報告

### 報告第1号 予算議案の作成に関する知事への意見申出について （令和3年度9月補正予算案）

- － 令和3年度9月補正予算案について，知事から意見を求められたので，教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したことについて －

〈教育次長兼総務福利課長が資料に沿って説明〉

〈質疑なし〉

（教育長） 異議がないので，報告第1号は了承をいただいたものとする。

## 5 その他

### (1) 令和3年度全国学力学習状況調査結果について（速報）

- － 令和3年度全国学力学習状況調査結果の概要，調査結果（速報）及び分析結果の公表スケジュール等について －

〈義務教育課長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

（島津委員） これまでで一番良い結果が出たのではないか。やはり義務教育課を中心とした職員の方々の努力の成果が出てきたのだと思う。「学びの羅針盤」や「学力向上支援Webシステム」などを活用したり，過去の学力調査の分析結果を各教育事務所や各市町村教育委員会，各学校に提供したり，地道に指導した成果もあると思う。今後，今回の結果も詳しく分析されると思うが，それもしっかりと活用して，さらなる学力向上に取り組んでいただきたい。

〈質疑終了〉

### (2) 令和3年度かごしまジュニア検定実施報告について

- － 令和3年度かごしまジュニア検定の概要，結果及び今後の実施方法等について －

〈義務教育課長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

(島津委員) この検定は初めて実施されてから10年以上経っているが、当初は約1万6,000人程度の参加者であったと思う。それが今では約1万人増加しているということで、この郷土教育のプログラムがしっかりと定着してきていると感じたところである。

合格率が悪くなっている原因として、検定の時期をずらしたため、準備不足だったということもあると思うが、実は、検定の対象学年である小学校5、6年生と中学校1、2年生は、基本的には4年間同じテキストを使い、検定でも同様な問題が出されているので、あまり知識が定着していないというところに問題がある気がする。しかし、繰り返し検定を受検することで、知識の定着に繋がると思うので、しっかりと活動を継続していただきたい。

(義務教育課長) 御意見のとおり、継続して取り組んでまいりたい。

〈質疑終了〉

### (3) 令和3年度県中学生イングリッシュ・デイ・キャンプ実施報告について

ー 県中学生イングリッシュ・デイ・キャンプの参加者数、活動内容及び成果と課題等について ー

〈義務教育課長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

(島津委員) 今回初めてのオンライン開催で、難しい面もあったと思うが、思った以上に子供たちが積極的に参加してくれたことは良かった。このオンライン開催の経験を他の授業にも生かすことができるのではないかと思うので、継続した取組をお願いしたい。活動に参加した子供たちの感想をいくつか教えてほしい。

(義務教育課長) 参加した子供たちの感想については、「やはり最初は緊張した。」とか、「画面越しなのでどうしたらいいのか分からなかった。」というものがあつたが、「始めてみたら何とかなつた。」とか、「やってみると、面白かつた。」という内容が大半を占めている。

(島津委員) オンライン実施による英語自体のスキルアップについては、子供たちはどのように感じているのか。

(義務教育課長) オンラインだからスキルアップが図れたとか、図れなかつたということに関する意見は届いていない。

(原之園委員) 学校からの参加者が71人ということだが、何校から参加があつたのか。

義務教育課でも課題として挙げているが、生徒本人が参加を希望しているにも関わらず、家庭にインターネット環境がないため

に、参加できなかった生徒がいたとしたら非常に悲しいことなので、そのような子供たちのためにも学校で参加できるような環境が整備できれば良いと思う。この点について、義務教育課として何か取り組んでいるのか。

(義務教育課長) 学校からの参加者の校数については、全参加校51校中10校ということであるが、家庭にインターネット環境がない生徒のためにも、なるべく学校で実施したいと思っている。

課題としては、夏休み中に、学校の先生方が1日中子供たちについてもらうことになるため、協力を得られるように工夫してほしいきたい。

(原之園委員) とても素晴らしい取組をされているので、色々な課題があると思うが、参加したい子供たちが参加できるようにお願いしたい。

(堀江委員) 今回、オンラインで実施できたことは素晴らしいことで、成果も出て良かったと思う。

高校のイングリッシュ・キャンプは、去年は中止だったと思うが、今年開催されたのか。また、昨年度も話をしたが、小学校でもこのような取組をされる計画はないのか。

(高校教育課長) 高等学校においても、8月の上旬と下旬の2回に分けて、オンライン形式で実施した。下旬開催分の感想文等の集約がまとまり次第、来月の定例会で報告させていただきたい。

(義務教育課長) この事業の実施については3年間の計画であり、今年度は2年目で、来年度に3年目を迎え、その後に事業の見直しが行われる。小学校についても、昨年度から新学習指導要領が実施され、3、4年生で英語活動が始まり、5、6年生で英語が教科化されたこともあるので、小学校まで事業を広げていけるかどうかということについて検討してまいりたい。

〈質疑終了〉

#### (4) 第47回全国高等学校総合文化祭生徒実行委員会の活動状況等について

- － 生徒実行委員会の概要、第45回全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文2021）の視察内容及び今後の活動計画等について －

〈高校教育課全国高等学校総合文化祭推進室長が資料に沿って説明〉

〈質疑なし〉

#### (5) 鹿児島県スポーツ推進審議会委員の改選・公募について

- － 鹿児島県スポーツ推進審議会の概要、委員任命のスケジュール及び令和2年度スポーツ推進審議会での審議事項等について －

〈保健体育課長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

(島津委員) オリンピックを観て、スポーツが多岐に渡っており、新しいスポーツが増えて、若い人達の参加が多くなっていると思った。そのような視点から、現審議会の委員の構成を見ると、年齢的に高い方が多いので、より若い方に委員をお願いしても良いと思う。  
また、パラリンピックでは感動する場面も多々あった。審議会の委員の中に、障害者関係の団体の方で、障害者福祉協会の委員が1名いらっしゃるが、障害者関係の枠を増やすことについては検討されないのか。

(保健体育課長) 若年層の委員の選考については、公募でどのような方が応募されるか分からないが、選考委員会の際にそういった視点で選ぶことも検討したい。また、学識経験者等の推薦団体に、そのような視点を添えて依頼することも考えたい。  
障害者スポーツの分野の委員については1人であるが、今後については検討させていただきたい。

〈質疑終了〉

## (6) 公立学校における新型コロナウイルス感染症対策について

- ー 公立学校における新型コロナウイルス感染症の現在の感染状況及び感染症対策等について ー

〈保健体育課長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

(今村委員) 感染症への対応については緊張感を持って、頑張っていると思うが、データマネジメントについてはしっかりなされているのか。  
例えば、資料中に学校関係の感染状況のデータが掲載されているが、これは国の状況である。これに対して、鹿児島県はどういう状況にあるのか、国と比較した県の状況について、分析がしっかりとなされていないのではないかと感じてしまう。  
離島の患者や10歳未満の患者が非常に増えているという話があったが、教育委員会としてデータを収集して、いつから増えてきたのか、その原因は何なのかということについて、しっかりとデータマネジメントをしておかなければならない。その上で、現在の対策が適切かどうかという判断をしなければならない。  
国からの指導に従って対策しているのであろうが、大都市圏に比べれば、本県の感染状況は落ち着いている方である。東京は子供の感染状況が非常に深刻な状況になっており、医療体制も非常に逼迫している。特に、そもそも感染していなかった子供が、両親が感染したために、子供の面倒を見るような場所がないため、家庭内感染を起こしてしまうというような様々な問題が発生している。本県はそこまでの状況には至っていないが、万が一、そのような状況になったらどうするかという対策は、前もって立てておかなければならない。BCPのあり方について、教育委員会としても色々なことを想定しているとは思いますが、少し心配している。  
先日、本県の医師会の理事会でも話があったが、小児に関して

は、感染しても症状が軽いということがあったため、今まではあまり力を入れられていなかった。今回のデルタ株は、小児でも重症化するケースが出て、死亡例も出ていることから、小児科の先生方を中心に本県でも対策が始まったが、そのような小児班との連携は十分に行われているのか。

(保健体育課長) データマネジメントについては、御指摘のとおり、国との比較や県内の状況などを丁寧に見ていきたい。

小児班との連携については、今のところ教育委員会が直接関わることはないため、知事部局とも連携しながら進める方向で検討してまいりたい。

(島津委員) 児童生徒の感染状況については、保健体育課から感染者数だけの報告をいただいている状況である。感染者数の累計は分かるが、現状はどうなっているのかが分からない。感染者数の増加に伴い、学級閉鎖や学年閉鎖がどのように関係し、閉鎖が解消されたのかが分かりにくい。回復した児童生徒もいる中で、そのような点がわからないと、せっかくデータをいただいても、どう判断したらよいか分からないので、もう少し分かるような工夫をしていただけるとありがたい。

(保健体育課長) 報告の仕方については、御意見を踏まえて工夫して報告したい。

特に8月は夏休みもあったため、コロナ室と連携しながら確認しているところであるが、感染して回復した後に、学校に出てくる児童生徒については、少し追えていない状況があるので、しっかりと対応してまいりたい。

〈質疑終了〉

## (7) 鹿児島県文化財保存活用大綱について

－ 鹿児島県文化財保存活用大綱の概要等について －

〈文化財課長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

(島津委員) 大綱中の「自然の特徴」の部分で、「南北600kmに広がる豊かな自然」とあるが、この中でカルデラについて個別に書いてあるのは、始良カルデラと阿多カルデラの2つだけである。しかし、もう1つの鬼界カルデラと合わせて3つのカルデラを持っていることが本県の大きな特徴であるので、主なカルデラが3つあるということを記載していただきたい。

「動物・植物」の部分について、渡瀬ラインというものがトカラ列島の中間を通っていて、それを境に南北で植生が変わっているのが、本県の特徴であるので、その点についても記載してほしい。

「近代」の部分で、総理大臣の黒田清隆、松方正義、山本権兵衛や軍人の東郷平八郎、画家の黒田清輝についての記載があるが、ここまで書くならば、経済人の川崎正蔵や五代友厚についても記

載した方が良いのではないか。

「大綱策定の背景と目的」の部分について、地域が文化力をつけることによって、その地域の魅力が高まり、他地域との差別化が図られ、鹿児島らしさに繋がると思うが、そのための文化財の保存活用という意識を持ってもらう必要があるのではないか。多くの人に文化財を保存活用することが地域のエネルギーの源泉になるという強い意識を持ってほしい。

文化や文化財は経済と比べた時に低く見られがちだが、日文研の元教授の川勝平太氏が「経済は文化に従属する」と言っていたり、また、ベネッセの創業者の福武總一郎氏が「経済は文化の下僕である」と言っていたりするように、文化の価値をしっかりと認めることが大事である。そのための文化財の保存活用ということを考えているという、より強いメッセージを出してほしい。

文化財の所在調査について記載があるが、これは非常に重要なことだと思う。地方にまだ眠っている貴重な資料が多くあると思うが、それが出てきた時に、相談しやすいような窓口を作っておかなければならない。出てきた時に、古いからということで捨てられないように、そういったものを吸い上げられるような仕組みを作してほしい。

文化財の専門家育成について、その一環として、黎明館や他の博物館にも専門の学芸員を配置して、文化財の体系的な保存活用ができるようにしてほしい。

近年廃校となる学校が多く出てきているが、その学校の持つ貴重な歴史的資料を捨てられてしまわないように、しっかりと保存するようにしてほしい。

文化財の活用を促進させるためには、教育委員会と知事部局や関係部署との連携が重要だが、なかなか具体的な連携に繋がっていないと思うので、連携がしっかりと取れるような仕組みを考えてほしい。

鹿児島市が所有している重要文化財の異人館は新しく世界遺産になったため整備が進んでいるが、これまでは周りの方が心配するくらい放置されていた。文化財を大事にするという意識改革ができるような文化財保存活用大綱を作してほしい。関係者はある程度の意識を持っているが、それ以外の人たちがどれだけ文化財に対する意識を持てるのかが大事だと思う。

(文化財課長) 大綱の内容について御意見をいただいた点については、また検討させていただきたい。

文化力については、第1章の本県の概要の中で、「個性ある歴史と多彩な文化について」ということも記述しているところである。また、県の文化芸術振興基本計画との連携についても、序章の大綱の位置付けの中で明記しているが、委員の仰った趣旨について、どのような記述ができるのか検討させていただきたい。

他にも多様な御意見をいただいたので、整理をして内容を詰めていきたい。

(原之園委員) 資料中に「学校教育における、文化財を素材とした郷土教育の取組の充実」とあるが、これからも文化財を守っていくのは、この子供たちであると思う。そのため、大綱の要約版でも構わない

と思うが、子供たちがよく分かるようなパンフレットを作っていた  
ただき、ぜひ郷土教育に活用していただきたい。

無形民俗文化財の継承について、文化財課の方でも3年ほど前  
から表彰活動を行っているが、文化財や地域社会を担っていくの  
は子供たちなので、ぜひそのような活動をより充実させて、意識  
の醸成を図ってほしい。

(文化財課長) 大綱の要約版については作成する予定だが、子供向けの視点が  
なかったもので、検討させていただきたい。御指摘いただいた他の  
御意見についても検討させていただく。

(馬場委員) 大綱の内容はとても興味深いところが多くあったので、ここに  
写真や資料説明の絵などがあると、イメージが湧いて、より分か  
りやすくなるのではないか。

(文化財課長) パブリックコメントまでは、文章の形で提示することを考えて  
いるが、最終的には御指摘のあったように絵や写真などを多く入  
れて、とにかく見やすいものにしたいと考えている。

〈質疑終了〉

## 6 議案

議案第1号 予算外議案の作成に関する知事への意見申出について  
(財産の取得に関する議案)

(非公開)

議案第2号 鹿児島県いじめ防止等対策委員会委員の任命について  
(非公開)

議案第3号 市町村立学校長の任命について  
(非公開)

## 7 その他

(8) 令和4年度公立高等学校生徒募集定員について  
(非公開)

(9) 令和3年度学校保健・学校安全・学校給食文部科学大臣表彰の被表彰候補  
者の推薦について  
(非公開)

(10) 養護教諭制度80周年記念学校保健功労者文部科学大臣表彰の被表彰候補者  
の推薦について  
(非公開)

## 8 閉会